

国際ロータリー第2530地区
2025-26年度

2025年10月25日(土)・26日(日) ホストクラブ・浪江ロータリークラブ

手を取り合い つないだ希望
未来へ広がる奉仕の輪

プログラム

10月25日(土) 会場: ホテル丸屋グランデ

地区大会委員会・諮問委員会

【会長会】

【本会議】

【地区リーダーラーニングセミナー】

講演「パキスタンにおけるポリオワクチン投与活動」

【RI会長代理ご夫妻歓迎懇親会】

10月26日(日) 会場: 浪江町地域スポーツセンター

【本会議】

開会点鐘

ガバナー 泉田 征慶氏

物故会員追悼・黙祷

ガバナー 泉田 征慶氏

実行委員長あいさつ

ガバナー 泉田 征慶氏

地区大会実行委員長

中西聰一郎氏

歓迎のことば

吉田 学氏

ガバナーあいさつ

泉田 征慶氏

RI会長代理あいさつ

高野孫左卫門氏

来賓祝辞

内堀 雅雄氏

RI現況報告

吉田 栄光氏

地区現況報告

高野孫左卫門氏

各種表彰・感謝状贈呈

泉田 征慶氏

青少年会議報告

ガバナー 泉田 征慶氏

記念講演「建築がつなぐ人と風景—復興の先にある美しい暮らし」

講師 隈 研吾氏

閉会点鐘

ガバナー 泉田 征慶氏

ガバナーあいさつ

国際ロータリー第2530地区
2025-26年度ガバナー

泉田 征慶氏 (浪江RC)



皆様、本日は「住みたい田舎」ランキング1位の浪江町へようこそお越しくださいました。

今回の地区大会のスローガンは、「手を取りあい つないだ希望 未来へ広がる奉仕の輪」といたしました。ご承知の通り、2011年3月11日、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により、浪江ロータリークラブの全会員は長期避難を余儀なくされました。テリトリー内に人がいない、前代未聞の状況の中、クラブの存続は極めて困難であり、当時、多くの会員が「継続は難しい」と感じておりました。しかし、全国のロータリアンの皆様から寄せられた温かいご支援と励ましの言葉が、私たちにとって何よりの支えとなりました。その「手を取りあう力」があったからこそ、浪江ロータリークラブは歩みを止めず、今日まで活動を続けてこられたのです。

国際ロータリーのメッセージである「よいことのために手を取りあおう」という言葉は、まさに私たちの歩みそのものと言えるでしょう。復興の道のりは、まだ続いておりますが、ロータリーの友情と奉仕の輪は、これからも確実に未来へと広がっていくと信じております。

浪江町は、「夢と希望があふれ 住んでいたいまち 住んでみたいまち」を理念に掲げ、震災からの復興の実現に向け、未来に向けたまちづ

くりを力強く進めております。ぜひ今回、そんな浪江の活気を、肌で感じていただければ幸いです。

祝辞

福島県知事 内堀 雅雄氏

代理 鈴木 正晃氏



国際ロータリー第2530地区 2025-26年度地区大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

震災と原発事故から14年半が経過する中、今もなお多くの方々が避難生活を続けておられるほか、廃炉と汚染水・処理水対策、風評と風化の問題、さらには、急激に進む人口減少や度重なる自然災害への対応など、本県は多くの困難な課題を抱えております。一方で、県民の皆様の懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、避難指示区域が大幅に縮小し、復興を支える拠点施設の整備が進むなど、福島の復興は着実に前進しております。また、県内への移住者数や外国人宿泊者数が過去最多を更新するなど、これまで続けてきた挑戦の成果が目に見える形となって現れてきております。

崇高なロータリーの精神の下、「よいことのために手を取りあおう」とのスローガンを掲げ、様々な取組を展開されている皆様の活動は、地域に活力をもたらすだけでなく、福島県の復興と地方創生をけん引する大きな原動力となるものです。今後とも地域社会の発展のため、一層お力を尽くされますとともに、更なる御支援を賜りますようお願い申し上げます。

浪江町長 吉田 栄光氏



国際ロータリー第2530地区 2025-26年度地区大会が、県内各地から多くの関係者の皆様をお迎えし、南相馬市・浪江町を会場に盛大に開催されますこと、誠に喜ばしく、開催地を代表しまして心から歓迎を申し上げます。

震災と原発事故から15年目に入りました。この間、皆様をはじめ、全国、そして世界中から、寄付金や物資の提供など、復興のために数多くの御支援を頂きながら、私たちは、ふるさとを取り戻すため復興に取り組んでまいりました。私たちにとって、皆様からの御支援は復興に取り組むうえで、大きな力となっております。この場をお借りして、改めて深く御礼申し上げます。

当町は、一時は全町避難を余儀なくされ、一度全てがゼロになってしましましたが、避難指示が解除された区域を中心に、少しずつ人が戻り、新たな生活を築き始めております。浪江町周辺の整備や農業・漁業等の一次産業の再生、次世代のエネルギーである水素を活用した取り組みなど、様々な分野で「新しい浪江」の姿が生まれつつあります。しかし、復興はまだ道半ばです。山林を中心に帰還困難区域が残されている現状など、乗り越えなければならない壁はまだまだあります。それでも、私たちは決して諦めません。この町で育んできた歴史や文化、そして人々の絆を大切にしながら、未来に向けて挑戦を続けてまいります。

本大会を通じ结束がより一層強固なものとなり、ロータリーの精神のもと、皆様が「よいこと」のためにこれからも手を取り合い、今後とも地域社会の発展のため、引き続きのお力添えと御協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区大会実行委員長あいさつ

地区大会実行委員長
中西聰一郎氏 (浪江RC)



2025-26年度国際ロータリー第2530地区大会を
浪江の地で開催するにあたり、フランチエスコ・アレツツオ国際ロータリー会長代理 高野孫左エ門様、福島県知事 内堀雅雄様、浪江町長 吉田栄光様をはじめ、多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

この地域は、2011年3月11日の東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所の発災により避難指示が出され、全町避難となりました。浪江ロータリークラブのメンバーも全国各地に避難し、クラブ存続の危機に直面しましたが、その時、全世界そして全国のロータリークラブをはじめ多くの方々からご支援を頂いたおかげで、再起することができました。

さて、フランチエスコ・アレツツオ RI会長は「UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう」を国際ロータリーのメッセージとされ、泉田征慶ガバナーは地区大会スローガンとして「手を取りあい、つないだ希望、未来へ広がる奉仕の輪」を掲げられました。震災の時、全国のロータリアンから差し伸べていただいた温かい励ましと支援の手、その「手を取りあう」力を通して、国際ロータリーのメッセージ「よいことのために手を取りあおう」は、私たちの歩みそのものであり、ロータリーの友情と奉仕の輪は、これからも未来へ広がり続けると述べられています。

この地区大会において、眞のロータリー奉仕への理解を深め、ロータリーについての視野を広げる機会となることを願っております。

歓迎のことば

ホストクラブ 浪江ロータリークラブ会長
吉田 学氏 (浪江RC)



本日は、国際ロータリー第2530地区 2025-26年度地区大会にご参加いただき誠にありがとうございます。ホストクラブそして大会開催にあたり多大なるサポートを頂きました分区6クラブを代表して心より歓迎申し上げます。

私ども浪江ロータリークラブは、双葉郡浪江町に拠点を置いて活動しており、本年で創立56周年を迎えます。2011年の東日本大震災、そして震災に伴う原発事故により、一時は活動の継続すら危ぶまれる状況もございましたが、多くの皆様のご支援と励ましを賜り、今までクラブを存続・発展させてくことができました。

本大会を浪江の地で開催できることは、私たちにとって大きな喜びであり、また、復興への歩みを共に振り返る機会にもなればと願っております。未だ道半ばではありますが、「奉仕の心」を胸に、地域と共に歩み続けてまいります。

本日は浪江をはじめとした被災地域の現在の姿を少しでも感じていただければ幸いです。

記念講演

建築家・東京大学特別教授・名誉教授
隈 研吾氏



1954年生まれ

1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。
慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授、

国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会長: 佐藤 修朗 幹事: 幕田 宙晃
例会場: 郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111
例会日: 木曜日
事務所: 〒963-8001 郡山市大町 1-2-17 大ビル 1階
TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678

郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから
<http://k-rc.main.jp/>



名誉教授、日本芸術院会員。

50を超える国々でプロジェクトが進行中。

主な著書に

『隈研吾 オノマトペ 建築 接地性』(エクスナレッジ)

『日本の建築』(岩波新書)、『全仕事』(大和書房)

『点・線・面』(岩波書店)、『負ける建築』(岩波書店)

『自然な建築』、『小さな建築』(岩波新書)、他多数

表彰

●会員数純増 上位8クラブ

第1位 郡山ロータリークラブ 7名

●新会員入会者数 上位7クラブ

第1位 郡山ロータリークラブ 15名

●ボールハリスフェローならびにマルチブル認証者

郡山ロータリークラブ 湯浅 大郎君 PHF+3

安藤 昇君

●寄付額上位10クラブ

5位 郡山ロータリークラブ 1,145,000円

●米山功労者(マルチブル)

郡山ロータリークラブ 石黒 秀司君 第9回

平松 敏郎君 第2回

遠藤友紀晴君 第2回

湯浅 大郎君 第3回

菅野 秀士君 第4回

林 誠君 第3回

●新米山功労者

郡山ロータリークラブ 鈴木 淳策君 第1回

●永年在籍30年

大野 勝久君 郡山ロータリークラブ

佐久間 啓君 郡山ロータリークラブ

佐藤 修朗君 郡山ロータリークラブ

地区役員

●諮問委員会

パストガバナー 石黒 秀司君 郡山ロータリークラブ

地区大会委員会

●決議委員会

委員 菅野 秀士君 郡山ロータリークラブ



出席報告

総員/ 108名 出席/ 25名 欠席/ 83名

出席率/ 23.15% 前回修正率/ 52.48% 他クラブ出席/ 8名

次回 第17回例会

令和7年11月6日本
会員卓話

「職業奉仕 私の想い」

ALSOX福島(株) 代表取締役社長 前田泰彦君

編集責任者: 幕田 宙晃
副委員長: 大谷 宏明

編集: クラブ会報委員会 委員長: 酒井 良胤
委員: 綾 哲志・伊藤 基文・八角 洋

